

「栄小が目指す ICT 教育」

作成：令和3年度 栄小 研究部

「学習指導要領」

情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、ICT を活用した学習活動の充実を明記。（総則）

+

「GIGA スクール構想」

子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する。

これまでの教育実践の蓄積

×

ICT の活用

=

学習活動の一層の充実 & 個別最適化と協働学習の実現



【栄小学校が目指す ICT 教育】 ICT の活用による、「個別最適化」と「協働学習」の実現



(1) ICT を活用した多様な方法による学習 (2) 特別に支援が必要な児童への ICT 活用 (3) 不登校児童に対する教育機会の確保 (4) 長期の臨時休校に対応できる ICT 活用

【デジタルドリルによる個別最適化した学び】

子どもたちの教育的ニーズや理解度に応じたきめ細やかな指導を行うことや、データを継続的に収集・蓄積・分析し、子ども自ら振り返りに活用すること。



小学校向けドリル学習ソフト 教科書準拠

ジヤストスマイルドリル

Point 1

大手教育出版社の教材コンテンツだから教科書準拠良質な大量の問題

Point 2

最適な出題で基礎学力を定着

児童一人ひとりに適した環境

Point 3

手書き解答でどんどん解ける

楽しく意欲的に学習できる仕掛け

知識・理解

【端末】

HP Chromebook×360 11 G3 EE
 ・360° 回転ディスプレイ ・11.6 インチ HD
 ・イン&アウトカメラ ・重量約1.45kg
 ・バッテリー約 13 時間駆動



【非常時】

オンラインによる
 ・連絡 ・健康観察
 ・個人面談 ・学習内容の共有
 ・課題の配付・提出



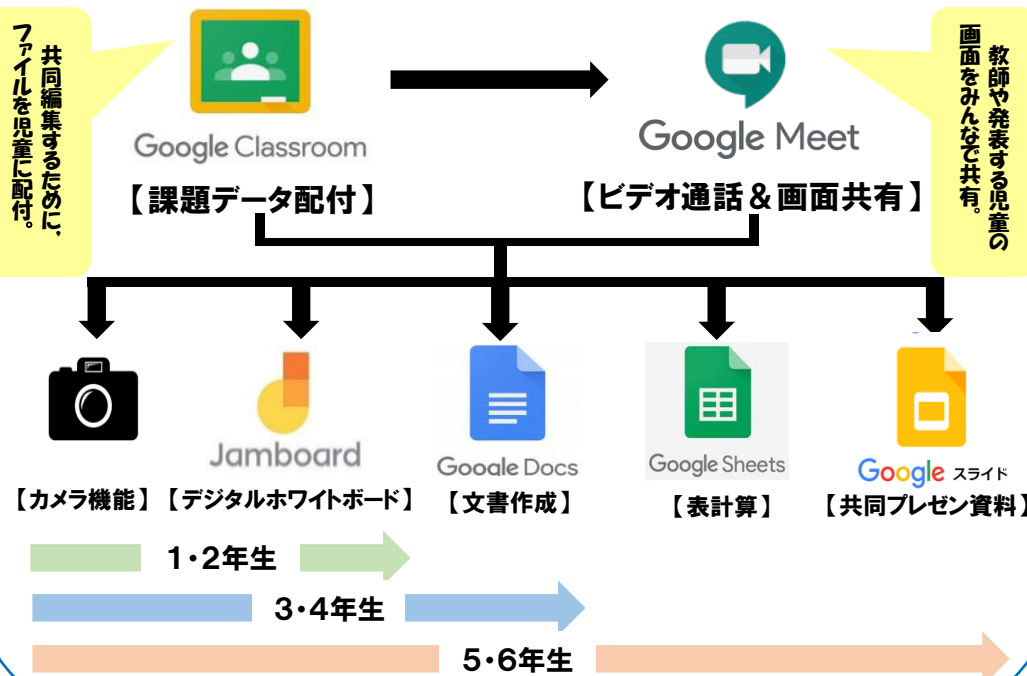
【YouTube による学校生活の共有】



授業や行事の様子、子どもの作品などの動画をアップロードし、そのリンクや QR コードを保護者に伝える。

【Google アプリによる全員参加の協働学習】

1人1台の端末でクラウドを活用して、思考を可視化して話し合ったり、共同編集したりするなど、リアルタイムで考えを共有しながら学び合うこと。



思考・判断・表現等

令和2年度【準備期】

各種研修や、端末や環境の整備

令和3年度【試行錯誤期】

活用に向けた試行と、情報収集

令和4年度【改善期】

基本的な活用スタイルの定着と、諸課題の解決

【デジタルドリルによる個別最適化した学び】

4/30	研修②	ジャストスマイル社による研修会 デジタルドリル運用スタート
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		デジタルドリル児童&教師アンケート
10/4	研修⑩	デジタルドリル使用改善研修
11月		
12月		
1月		デジタルドリル児童&教師アンケート
2/28	研修⑱	デジタルドリル使用改善研修
3月		



【Google アプリによる全員参加の協働学習】

4/16	研修①	Chromebook スタートガイド研修
5/10	研修③	Chromebook の校内のきまり Classroom の使い方
5/31	研修④	Jamboard の使い方 運用スタート
6/14	研修⑤	中学年提案授業・事後研修
6/28	研修⑥	高学年提案授業・事後研修
8/23	研修⑦	ブロック研修
9/6	研修⑧	低学年提案授業・事後研修
9/27	研修⑨	ブロック研修
10/18	研修⑪	ブロック研修
10/25	研修⑫	中学年ブロック校内実践発表会
11/8	研修⑬	ブロック研修
11/15	研修⑭	特別支援提案授業・事後研修
12/6	研修⑮	ブロック研修
12/13	研修⑯	高学年ブロック校内実践発表会
1/24	研修⑰	ブロック研修
2/10	研修⑱	低学年ブロック校内実践発表会
3/11	研修⑳	研修のまとめ

校長

教頭

教務部



ミニ研修

研究部

- ・月2回程度
- ・15:20~15:40
- ・職員室後方で、情報交流を行う

全体研修

- (1) 基本操作の共有
- (2) 提案授業 (4本)
- (3) デジタルドリル研修

ブロック研修

- (1) 日常の実践交流
- (2) 実践発表会の準備
- (3) ICT 事例の作成

校内実践発表会

ブロック3事例以上
(目標合計10事例)

ICT 学習事例に実践をまとめ、実演形式で発表し共有をする。

「学力向上×ICT」の協力

- ・朝学習での端末使用のルール
- ・TTでの端末使用の補助